2021「山ちゃん通信」No,16

2021, 5, 26

文責：山香 昭

これぞ！校内研究会　大分大学附属小「授業づくりセミナー」に参加して

本年度、大分大学教育学部附属小学校が新たな取組として、校内研究会を公開して参加者と共に考える「授業づくりセミナー」を行っています。今回私も参加しました。

１　授業から学んだこと　４年生社会「健康なくらしを守る仕事」

①　子どもがつくる「めあて」「課題」　→　単元計画を子どもが理解している

授業者（山本教諭）は、前時までのふりかえりを子ども達に自由に言わせながら、本時の「めあて」を確認し、子ども達が調べたいことを引き出し「課題」を決めていました。その際、ある子どもが今日の課題に「交流・・」とつぶやいたときに、「いや、今日は交流まではいかないよ」と発言していました。子どもが単元計画を理解していると思いました。

②　資料を出すタイミングの良さ　→　もっと調べたい・・子どもの学習意欲に応える

課題を解決するために、当初は教科書を根拠に意見を述べていた子ども達。しかし、もっと調べたい、もっと発表したい。という機運を高めた後に新たな資料を渡したので、子ども達は資料を手にするやいなや、必死に調べていました。

③　テンポのある展開　→　学級経営の成果

個人で調べた後、近くの友達と話し合う場を何度も取り入れていたので、テンポよく授業が展開しました。その際、「一人をつくらない」「相手の話しを最後まで聴く」「根拠を示して話す」という相手軸で話し合うことができていました。また、いろいろな意見に対しても、「そうだね」「そうなんだ」というリアクションを自然に行っていました。教室が安心な空間だからこそ、自分の思いを言えるのでしょうね。

２　研究会から学んだこと

1　時間厳守（校長挨拶などは無し。55 分をグループ協議→パネルディスカッション→フロアより→指導教諭の指導助言　と詳細に時間配分を行いスピディーに進行していました。）

2　グループ討議は年齢別で話しやすい雰囲気を大切に。子どもの変容と学習指導要領の内容を中心に行っていました。

3　パネルディスカッションでは司会者と各グループ代表の見事な掛け合いが。フロアからは板書のあり方等具体的で前向きな提言が。

4　秦指導教諭の指導助言は、事前に準備された学習指導要領や教科書のプレゼンに当日の授業の様子の写真を組み込むなど、理論と子どもの姿を見事につないだ説明は切れ味抜群！シビれた！

5　記録者はそれぞれの意見を構造的な板書でまとめていました。芸術的ともいえる板書で皆の「学びのアウトプット」へつながります。

この学び合う教師の姿が子どもの姿ですね。

とても心地の良い時間でした！

NO.25　2021年5月　大分大学附属小学校(教師編)

高さを揃える

目線だけでなく耳の高さを揃えると、子どもの思いが見えてくる。

NO.27　2021年5月　大分大学附属小学校(教師編)

正対する

子どもの思考や学びの過程をしっかり見ると、多くのことが見えてくる。

NO.26　2021年5月　大分大学附属小学校(教師編)

笑顔で見守る

「すごいな」「がんばれ」「そうだよね」「なるほど」・・笑顔にはそのような思いがありますね。

NO.29　2021年5月　大分大学附属小学校(教師編)

繋ぐ

本授業と学習指導要領を。子どもの姿と授業者の願いを。それぞれの教師の思いを。そんな研究会は真剣で温かい。

NO.28　2021年5月　大分大学附属小学校(教師編)

前向きな対案

自分の思いを語ることができるのは、前向きに聴いてくれる仲間がいるから。

NO.30　2021年5月　大分大学附属小学校(教師編)

学びのアウトプット

学びっぱなしにはしない。今日、子ども達から学んだことを明日に活かす。

「価値語」と「通信」が職員室に掲示されていました。

やっぱりうれしいです！私も頑張ります